

第1 徳島県警察のしくみ

1 徳島県公安委員会

(1) 公安委員会の役割

警察の民主的運営と政治的中立性を確保するために設けられた機関であり、県民の代表として、警察の業務に意見を反映させるものです。

(2) 公安委員会の構成

県知事が県議会の同意を得て任命した3人の委員で構成されています。

(3) 公安委員会の活動

県警察の運営方針や、それを踏まえた県警察の各種施策、事件・事故等への取組状況について報告を受け、意見を述べるなど県警察を管理するほか、法律に基づき、交通規制の実施決定、自動車運転免許証の交付、風俗営業・古物営業の許可、銃砲刀剣類の所持許可といった、国民生活に関わりのある行政事務を処理しています。



公安委員会の様子

2 警察署協議会

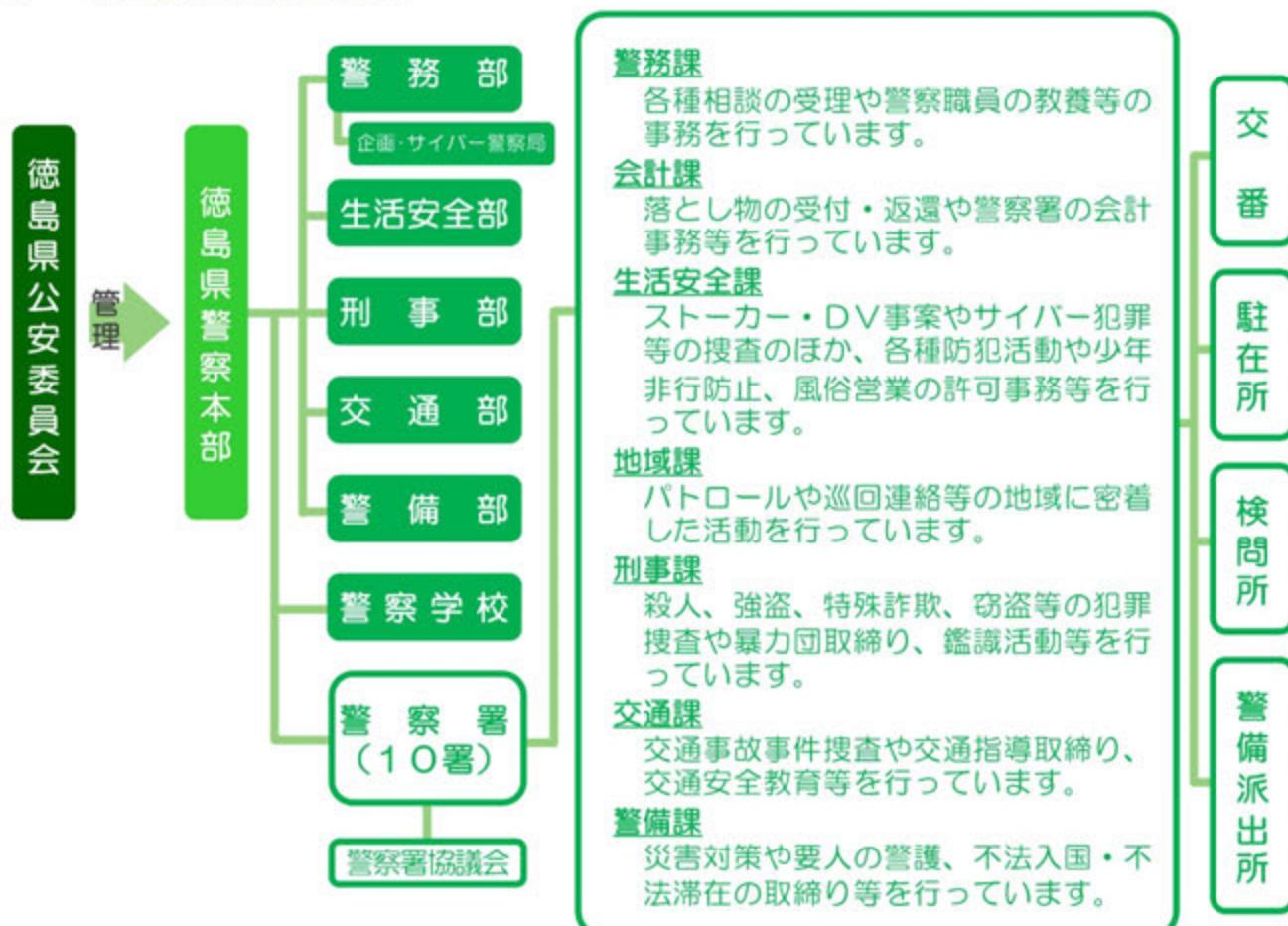
県内の全警察署に、管轄区域内の住民等の代表者で構成される警察署協議会が置かれています。

地域の安全に関する問題について、地域住民の意見、要望を業務運営に反映させるほか、地域住民に警察署の業務を説明し、理解と協力を得る場となっています。



警察署協議会の様子

3 徳島県警察の組織



4 徳島県警察の体制

※令和6年4月1日現在（人員は定数）

(1) 体制



警察官 1,580人

一般職員 299人

(2) 施設



警察署 10署



交番
検問所
警備派出所 38か所
1か所
1か所



駐在所 59か所

(3) 装備



パトカー 116台



白バイ 20台



ヘリコプター 1機



警察船 1隻

5 警察音楽隊

(1) 警察音楽隊の目的

警察音楽隊は昭和25年12月に発足し、安全安心を誇れる徳島県の実現に向け、県民と警察を結ぶ「音の架け橋」として、県内の警察署が行っている各種キャンペーンや行事に出動し、演奏を行うことにより警察活動に対する理解と協力を求めるものです。

(2) 警察音楽隊の体制

令和5年6月1日現在、隊長以下24名（内カラーガード5名）で編成されています。

普段は、警察官や警察事務職員として警察署等で勤務し、徳島県の安全・安心を確保するための職務に当たっています。



警察音楽隊

(3) 警察音楽隊の活動(令和5年中)

令和5年中の派遣出動回数は50回、聴衆数は21,840人でした。

-吹奏楽演奏-

徳島県内の各警察署が開催する交通安全や特殊詐欺被害防止を呼びかけるキャンペーンや、市町村における公共的な行事、毎年2回（春・秋）開催している文化の森でのファミリーコンサート、四国4県警察音楽隊演奏会などにおいて、吹奏楽での演奏を来場者にお届けしています。



吹奏楽演奏

-アンサンブル演奏（小編成）-

会場のスペースが限られている場合には、6～9人編成での演奏を行っています。

少人数による演奏のため、県民や地域に密着した演奏活動が可能となり、ニーズに応じた演奏活動を実施しています。



アンサンブル演奏

-カラーガード隊による演技-

徳島県警察音楽隊には、女性隊員で構成するカラーガード隊があります。

カラーガード隊は、メロディーに合わせてフラッグなどを使い、さまざまな演技を行っています。

また、パレードの時には先頭に立って行進したり、県民に対するメッセージとして、交通安全や特殊詐欺被害防止などのパネルを掲げ、広報啓発活動を行っています。



カラーガード隊

-YouTubeによる演奏動画配信-

YouTubeを活用し、県民の皆様に「Webコンサート」として演奏動画を配信しています。ドローンを活用した空撮を取り入れ、これまでにはないアングルの動画も配信しています。



四国4県警察音楽隊演奏会

-四国4県警察音楽隊演奏会-

四国4県警察音楽隊演奏会は、各県持ち回りで開催されており、令和5年は香川県で4年ぶりの開催となりました。

各県の思考を凝らしたドリル演奏や、4県全隊員約80名による迫力のある吹奏楽を披露しました。